

概要版

令和2年度

事業年報

Activity Report 2020



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

Ibaraki Health Service Association

ご 案 内

事業年報の詳細は
当協会のホームページから御覧いただけます。

けんこうリンク



ま え が き

このたび、令和２年度に実施いたしました各事業実績を事業年報として編集し、発刊する運びとなりました。関係各位の多大なるご支援に対し、改めて御礼申し上げます。

県民の皆様の公衆衛生向上を目的とした健康づくり活動などにご活用いただくとともに、当協会が実施する事業活動へのご理解をより一層深めていただければ幸甚に存じます。

さて、令和２年度においても、当協会の事業目的である茨城県民の疾病予防・健康の保持増進、並びに健康寿命を延伸するための健康づくり支援を推進するため、各種事業を積極的に展開してまいりました。健診検査事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大が大きく影響し、健診日程の延期・中止が相次いだことにより、前年度と比べ大幅減となりました。特に、地域健診では、健診の中止はもとより、感染症対策として行った健診基準人員の抑制や受診控えの影響で、特定健康診査受診者数の減少幅が大きなものとなりました。

その一方、健診検査の受診控えは、早期発見・早期治療の機会を失い、疾病の重症化につながりますので、万全な感染防止対策を施したうえ、市町村や医療保険者等と連携して受診者数の確保に努めてまいりました。加えて、私どもが最もこだわる健診検査精度の維持向上を図るため、技術スタッフの育成・教育と、健診検査機器等の保守を継続してまいりました。また、予防医学運動の一環として、関係機関の協力を得て、一部キャンペーンの自粛があったものの、広報誌等の配布などを行い、疾病予防に対する正しい知識の普及と受診率向上活動も展開してきました。

また、当協会が管理運営している茨城県立健康プラザにおいては、本県独自の介護予防策である「シルバーリハビリ体操指導士」養成事業を積極的に推進してまいりました。新型コロナの影響で、指導士養成講習会の実施日数が減少し、新たな養成者数が停滞したものの、累計養成者数は 9,396 人に達しました。今後も感染症対策に取り組みながら、健康づくりに寄与するという公益法人としての使命を果たすべく、引き続き真摯に事業運営に取り組んでまいります。

最後となりましたが、各方面の皆様には本年報をご高覧いただき、当協会の事業活動へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

公益財団法人 茨城県総合健診協会
会 長 永 田 博 司

目 次

1 はじめに

1-1	協会概要	1
1-2	令和2年度事業概要	2
1-3	役員名簿	3
1-4	トピックス	4
表 1-1-1	年度別健診検査実績	6

2 結核健診

2-1	結核定期健康診断等	9
-----	-----------	---

3 地域保健

3-1	特定健康診査等	13
3-2	肝炎ウイルス検診	15
3-3	二次予防事業対象者把握事業	16
3-4	肺がん検診	17
3-5	胃がん検診	19
3-6	大腸がん検診	21
3-7	乳がん検診	22
3-8	子宮がん検診	23
3-9	腹部超音波検診	25
3-10	前立腺がん検診	25
3-11	骨粗鬆症検診	26
3-12	風しん抗体検査	27
3-13	新型コロナウイルス感染症検査	27

4 職域保健（その他の健診含む）

4-1	定期健康診断等	29
4-2	特殊健康診断	31
4-3	各種がん検診等	32
4-4	総合健康診断（人間ドック）	34
4-5	特定保健指導	35
4-6	腸内病原細菌検査	37

5 学校保健

5-1	尿検査	39
5-2	心臓病検診	40
5-3	貧血検査	41
5-4	小児生活習慣病予防健診	42

6 母子保健

6-1	先天性代謝異常等検査	43
-----	------------	----

7 普及啓発事業

7-1	普及啓発活動	45
-----	--------	----

8 各種研究委員会・研修会等

8-1	各種研究委員会	47
8-2	令和2年度各種研修会・講習会・学会参加状況	48

数表について

- ・ 百分率(%)は、原則として小数点第二位で四捨五入している。ただし、第二位で差異が読み取れない個所については、小数点第三位で四捨五入している。
- ・ 数字が、【0】の場合は【-】にて表記している。
- ・ がん検診追跡調査結果については、令和4年6月末現在集計値。

1 はじめに



1-1 協会概要

■ 設立趣旨

(公財) 茨城県総合健診協会は、県民を対象に、疾病予防及び健康の保持増進に関する正しい知識の普及啓発と調査研究、並びに結核・がん・循環器疾患等の疾病予防を目的とする健康診断を、より効果的に行うため、(公財) 結核予防会、(公財) 日本対がん協会、(公財) 予防医学事業中央会の各茨城県支部を統合し、昭和56年に設立した団体である。

■ 経営理念

県民の健康づくりを総合的に支援することで、県民の豊かで活力ある生活に貢献します。

■ スローガン

Do our best with smile 「受診者の立場に立って健診を、先ずは明るい笑顔から」

■ ネーミング 「けんこうリンク」

安心できる健康診断をとおして、健康で充実した日常生活へ“つながる”。また、お客様と当協会が健康に関する課題の共有によって日常的に“つながっている”という意味を込めて、同意の英語である「リンク」を用い、「けんこうリンク」と名付けた。

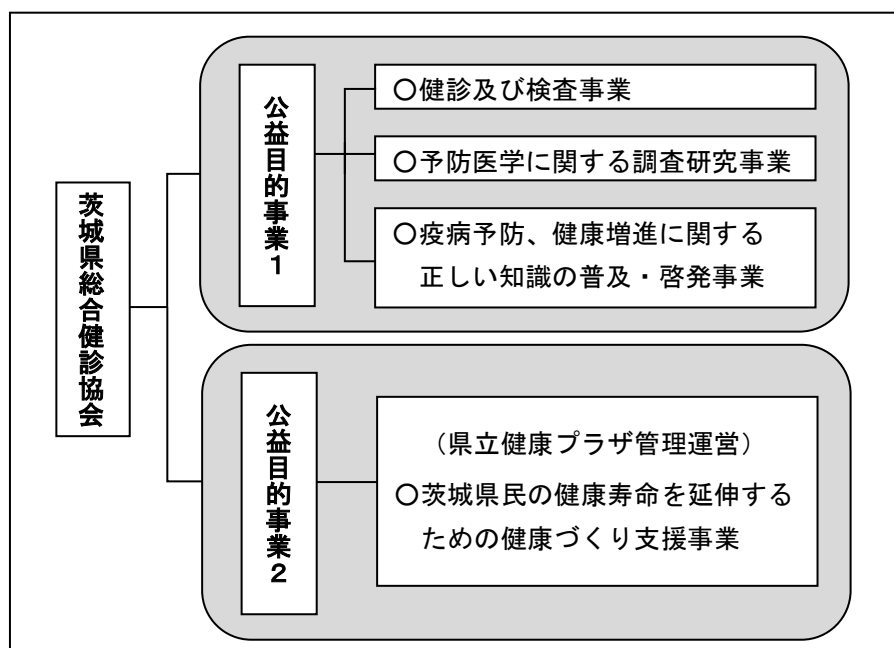
けんこうリンク

■ シンボルマーク 「ハートの聴診器」

「聴診器」を図形化している。聴診器は、お客様と当協会をつなげるアイコンでもある。さらにハートで優しさを添え、心と体を軽くする安心感を表現している。



■ 事業内容



1-2 令和2年度事業概要

当協会の事業目的である、茨城県民に対する疾病の予防・健康の保持増進、並びに健康寿命を延伸するための健康づくり支援を推進するため、各種事業を展開した。

当期の主な事業の概要は、以下のとおりである。

◇ 公益目的事業 1

1 健診・検査事業

① 地域保健

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度の実績を大幅に下回った。4月の緊急事態宣言発出に伴い、県内全域において各種健診が中止になったことに加え、宣言解除後も健診日程の延期や中止が相次いだことなどが大きく影響した。

また、市町村からの受診勧奨が控えられたこと、住民の受診控え、さらに、健診会場における感染防止措置の一環として、1日あたりの上限数を抑制したこと、時間帯別の予約制を導入したことなどもあって、いずれの健診項目とも受診者数は大幅に減少した。

② 職域保健

地域保健同様に、4月中の健診をすべて中止としたが、宣言解除後に空き日程等を活用し一部の事業所を除き予定どおりに健診を実施することができた。

定期健康診断では、一部の大学の教職員健診において対象者を限定したことなどにより大幅に減少したが、複数の事業所を新たに受託したことや、官公庁等の受診者数が増加したことにより、若干の減少にとどまった。

がん検診については、大学の教職員健診と同時に実施している肺がん検診で減少があったものの、一般事業所や官公庁等の受診者増加に伴い、大腸がんや女性のがん検診が増加したことにより、がん検診全体では前年度とほぼ同数の実績であった。

③ 学校保健

緊急事態宣言発出に伴い、学校が一斉休校となったことから、当初夏休み前までに終了予定であった尿検査や心臓病検診を実施することができなかったが、宣言解除後に日程を再調整し、計画した市町村教育委員会はすべて実施することができた。

しかしながら、大学等の健診においては、リモート授業や外国人留学生が来日できなかったことなどが影響し大幅に減少したことから、学校保健全体では前年度の実績を下回った。

2 疾病予防、健康増進に関する正しい知識の普及・啓発事業

① 普及啓発活動

健康教材の無料貸し出しのほか、結核予防週間、がん征圧月間、世界禁煙デーにおいて、県内全域にポスター配付、ホームページによる告知、横断幕掲示、茨城県公式ツイッターによる周知等を実施した。

② 健康教育活動

児童・生徒を対象とした小児生活習慣病予防健診の要精密検査者及び希望者に対し、保護者を交えて、結果の見方並びに生活習慣病改善に向けた動画を上映するとともに、オンラインによる小児科専門医師の個別相談を行った。

◇ 公益目的事業 2

県立健康プラザの管理運営を行い、健康づくりの情報発信基地として幅広い事業を展開した。

- シルバーリハビリ体操指導士の養成事業を推進し累計養成数は9,396人を突破した。
- 地域における健康づくりの実践を促進するため、保健所や市町村の健康づくり指導者等を対象とした専門的な研修を開催した。

1-3 役員名簿

令和4年9月1日現在

評 議 員	大 和 田 一 雄	弁護士
	緒 方 剛	茨城県潮来保健所所長
	菊 池 勉	茨城県国民健康保険団体連合会事務局長
	久 保 木 信 尚	茨城県市町村職員共済組合事務局長
	堀 江 英 夫	茨城県市長会・町村会常務理事
	森 川 博 司	茨城県保健医療部部長
	瀧ヶ崎 孝 子	茨城県地域女性団体連絡会副会長
	土 井 幹 雄	水戸市保健所所長
	真 家 栄 子	茨城県食生活改善推進員協議会会長
理 事	永 田 博 司	茨城県総合健診協会会長(代表理事)
	大 田 仁 史	茨城県総合健診協会副会長(業務執行理事) 茨城県立健康プラザ管理者
	鈴 木 邦 彦	茨城県総合健診協会副会長 茨城県医師会会長
	吉 添 裕 明	茨城県総合健診協会副会長(業務執行理事)
	加 藤 勝 義	茨城県総合健診協会専務理事(業務執行理事)
	富 沢 巧 治	茨城県総合健診協会常務理事(業務執行理事)
	櫻 井 よ う 子	茨城県地域女性団体連絡会会長
	石 渡 勇	日本産婦人科医会会長
	金 澤 秀 房	茨城県総合健診協会理事
	戸 田 一 男	茨城県総合健診協会理事
監 事	大 川 雅 弘	税理士
	椎 名 操	元茨城県生活環境部部長

1-4 トピックス

■ 令和2年度の精度管理調査事業結果

精度管理調査事業名称	実施機関	分野	評価
総合精度管理事業	全国労働衛生団体連合会	胸部X線	A(優)
		胃部X線	A(優)
		臨床検査	A(優)
臨床検査精度管理評価事業	日本医師会	臨床検査	100/100 点
	日本臨床衛生検査技師会		A
			細胞検査

■ 第三者機関による認定等の取得状況

令和4年9月1日現在

名 称	認定・認証機関	認定条件
プライバシーマーク (JISQ15001)	日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)	個人情報管理体制及び運用が 適正であること
CDC 脂質標準化プログラム認証	国立循環器病研究センター	脂質検査の検査値が、国際標 準に合致していること
マンモグラフィ検診施設 画像認定	日本乳がん検診 精度管理中央機構	良いマンモグラフィ検診を確 保するために、撮影設備・施 設・画像・線量等が一定基準 を満たしていること
日本消化器がん検診学会 認定指導施設	日本消化器がん検診学会	指導医1名、認定医1名が勤 務し、指導医のもとに十分な 指導体制がとれていること
日本臨床細胞学会認定施設	日本臨床細胞学会	施設、スタッフ（細胞診専門 医、検査士）並びに学会等の 参加状況等が一定の基準を満 たしていること
労働衛生サービス機能評価 認定施設	全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会	施設、スタッフ（医師・技師・ 看護師等）、データ管理、精度 管理等が一定基準を満たして いること

表1-1-1 年度別健診検査実績

項目 年度	結核 健診	地域保健				職域保健			学校保健					がん検診		
		健康 診査	健康度 評 価	生活機 能評価	二次 予防	定期健 康診断	特殊健 康診断	総合健 康診断	尿検査	寄生虫 卵検査	心臓病 検 診	貧血 検査	小児生 活習慣 病健診	肺がん		
														X線	喀痰	C T
昭和 56	458,825	141,373	—	—	—	26,233	683	—	359,701	241,032	24,804	26,828	—	—	—	—
57	462,608	147,929	—	—	—	26,733	781	—	358,495	233,691	25,130	30,542	—	—	—	—
58	447,279	196,464	—	—	—	30,204	1,435	—	337,226	221,895	28,964	31,519	—	—	—	—
59	448,409	209,821	—	—	—	33,421	1,561	—	357,947	222,196	30,545	31,363	—	—	—	—
60	464,943	241,719	—	—	—	31,444	2,504	—	362,533	218,628	30,305	34,717	—	230,462	4,233	—
61	501,616	250,475	—	—	—	35,097	2,796	—	368,739	213,934	30,360	38,581	—	290,128	5,621	—
62	498,668	278,579	—	—	—	36,821	2,299	—	364,882	208,948	30,181	40,337	—	299,050	6,614	—
63	485,643	264,318	—	—	—	40,236	3,922	—	363,557	213,439	30,778	43,635	—	276,422	9,220	—
平成 元	486,413	343,657	—	—	—	43,688	4,743	—	377,823	226,111	36,070	50,182	—	269,592	11,154	—
2	478,199	265,531	—	—	—	58,058	4,495	321	366,651	229,035	38,290	47,974	—	284,615	12,534	—
3	471,626	264,907	—	—	—	61,912	5,144	299	366,837	242,246	37,120	55,728	8,032	276,221	11,240	—
4	430,587	253,600	—	—	—	61,931	5,222	253	351,212	232,893	35,704	49,828	8,807	260,979	11,291	—
5	397,825	259,442	—	—	—	62,097	5,548	398	342,439	227,665	35,735	50,170	12,155	271,978	13,454	—
6	436,639	248,993	—	—	—	66,780	5,341	393	335,899	220,480	35,340	44,920	13,083	252,916	11,913	—
7	429,731	227,568	—	—	—	95,073	5,593	586	333,083	192,546	35,755	43,903	12,916	249,897	11,900	—
8	391,825	226,278	—	—	—	76,168	5,816	694	325,216	152,053	34,850	43,303	13,411	235,636	11,815	—
9	422,775	233,071	—	—	—	77,951	6,144	587	315,753	141,977	32,946	38,201	20,117	244,704	9,193	—
10	426,024	234,748	—	—	—	75,789	8,542	508	308,011	138,377	32,345	32,535	15,140	246,176	13,958	—
11	422,329	238,883	—	—	—	73,287	9,184	761	301,146	133,064	32,475	29,010	14,195	246,678	14,941	—
12	420,282	242,320	—	—	—	66,733	8,025	835	295,708	131,180	31,982	28,343	14,161	250,441	14,728	—
13	413,831	245,751	—	—	—	66,686	7,832	786	254,753	128,508	46,552	27,153	13,717	252,092	14,436	—
14	394,548	252,654	1,253	—	—	63,502	9,974	753	209,479	123,539	30,816	25,648	13,901	260,314	13,791	—
15	393,220	256,383	13,456	—	—	40,750	11,299	707	207,048	122,874	31,037	24,450	12,599	262,788	10,409	—
16	386,559	256,184	18,722	—	—	39,443	14,155	618	204,603	119,100	30,717	25,638	14,549	260,743	9,551	960
17	370,606	255,650	13,807	—	—	38,012	15,996	1,259	201,622	112,299	29,716	21,040	15,851	255,039	8,865	943
18	355,181	257,027	17,081	109,619	—	40,767	17,663	663	206,917	107,279	29,886	19,622	12,453	246,978	8,878	1,608
19	347,567	254,041	13,622	111,373	—	40,677	19,381	687	212,633	103,942	31,327	3,215	14,793	244,355	8,818	1,608
20	299,732	201,936	—	100,648	—	45,123	22,636	685	191,567	88,393	30,284	3,195	14,334	211,714	7,767	1,608
21	306,059	206,345	—	99,811	—	49,275	24,025	703	218,600	92,669	30,090	2,752	14,467	215,104	7,051	1,326
22	310,274	208,049	—	101,911	—	49,164	23,915	746	197,139	80,626	29,566	2,875	14,510	216,127	7,002	963
23	302,134	203,595	—	7,377	87,016	45,938	24,899	691	189,038	78,168	29,202	3,024	14,305	210,527	6,252	887
24	298,423	205,148	—	—	53,600	42,018	22,731	699	186,084	76,630	28,560	2,945	13,936	211,171	6,085	939
25	304,423	211,897	—	—	28,077	45,814	25,780	605	184,282	75,846	29,728	2,940	12,949	214,223	5,978	750
26	305,897	213,005	—	—	37,567	46,015	26,149	602	181,355	77,169	29,385	2,875	12,764	214,626	6,009	651
27	306,062	215,398	—	—	16,507	46,764	27,617	614	180,192	74,873	28,711	2,779	11,941	223,522	6,002	731
28	304,901	214,647	—	—	9,864	47,550	27,773	630	178,213	6,230	29,989	2,828	11,690	221,774	4,681	537
29	294,739	210,459	—	—	1,051	48,496	27,952	544	176,473	—	29,113	2,645	11,228	217,574	4,273	337
30	295,299	211,691	—	—	1,034	48,990	27,251	557	173,983	—	28,564	2,701	9,531	227,944	4,100	337
令和 元	290,976	209,572	—	—	1,035	47,502	25,504	529	170,919	—	28,899	2,495	9,659	226,193	3,814	328
2	196,311	114,835	—	—	1,249	50,871	19,369	534	163,890	—	28,832	2,522	8,845	141,271	3,320	262

項目 年度	がん検診										母子 保健	その他の健診				
	胃がん			大腸がん	乳がん			子宮頸がん	腹 部 超音波	前立腺 が ん	先天性代謝異常等 検 査	IGRA 検査	肝炎 ウイルス 検診	骨粗鬆 症検診	腸内病 原細菌 検 査	
	X線	リスク (層別化)	ペプシノゲン		視触診	X線	超音波									
昭和 56	76,718	—	—	—	—	—	—	68,563	—	—	32,052	—	—	—	46,748	
57	79,268	—	—	—	—	—	—	73,251	—	—	33,434	—	—	—	56,614	
58	80,263	—	—	—	—	—	—	79,166	—	—	33,300	—	—	—	74,321	
59	88,565	—	—	—	—	—	—	86,256	—	—	33,700	—	—	—	82,757	
60	92,863	—	—	—	—	—	—	92,515	—	—	32,821	—	—	—	105,833	
61	101,993	—	—	—	—	—	—	94,038	—	—	30,178	—	—	—	97,067	
62	102,775	—	—	—	—	—	—	93,566	—	—	30,775	—	—	—	99,636	
63	96,346	—	—	5,250	4,846	—	—	92,609	—	—	29,735	—	—	—	124,962	
平成 元	96,258	—	—	18,886	18,930	—	—	88,723	—	—	28,772	—	—	—	130,115	
2	100,755	—	—	35,743	26,756	—	—	92,178	—	—	28,277	—	—	—	137,463	
3	100,523	—	—	53,396	31,187	—	—	96,961	—	—	28,446	—	—	—	153,396	
4	99,842	—	—	66,378	34,380	—	—	93,644	—	—	28,745	—	—	—	171,506	
5	102,910	—	—	79,149	40,484	—	—	97,576	—	—	28,715	—	—	—	179,851	
6	103,582	—	—	88,997	30,473	415	—	96,560	—	—	29,493	—	—	2,799	208,238	
7	102,741	—	—	97,479	31,813	3,990	—	92,759	—	—	27,517	—	—	21,957	206,046	
8	99,436	—	—	101,155	32,541	5,659	—	92,135	—	—	28,519	—	—	22,771	241,772	
9	101,629	—	—	106,689	31,118	7,544	—	89,374	—	542	28,527	—	—	20,000	221,799	
10	105,757	—	—	117,306	33,819	8,195	—	80,183	—	5,047	28,798	—	—	23,322	223,962	
11	103,328	—	—	116,506	30,337	13,630	—	79,356	251	10,783	28,897	—	—	20,586	216,719	
12	103,823	—	—	120,062	30,211	13,880	—	78,866	6,165	16,890	28,799	—	—	20,290	212,252	
13	104,256	—	—	124,886	31,594	16,415	1,433	84,868	11,512	21,114	28,637	—	6,582	20,762	208,457	
14	102,952	—	2,358	126,744	24,077	17,632	8,637	79,649	13,135	22,498	27,924	—	37,521	22,258	203,514	
15	107,623	—	3,582	131,111	22,581	20,454	14,499	80,434	15,344	33,403	27,649	—	38,213	23,236	196,271	
16	104,924	—	4,443	129,103	13,729	22,649	19,162	76,616	16,592	37,843	26,743	—	31,781	39,184	184,207	
17	105,705	—	2,919	132,180	11,249	22,766	20,001	78,918	18,282	34,652	25,618	—	25,774	18,979	167,679	
18	105,566	—	2,965	136,515	10,140	25,528	21,652	82,370	19,089	43,403	25,931	—	28,135	17,956	152,330	
19	103,941	—	2,140	140,701	10,191	27,692	24,345	83,846	18,253	43,171	25,786	—	11,620	14,976	140,752	
20	94,609	—	2,161	128,790	7,258	28,599	27,523	83,406	17,399	39,057	25,794	907	8,767	13,685	134,820	
21	97,626	—	1,138	135,110	8,406	35,535	29,972	91,160	19,106	42,213	25,292	1,117	12,530	14,144	127,442	
22	96,026	—	1,535	138,032	8,568	34,211	30,935	94,906	17,174	46,227	24,995	1,751	11,523	11,965	123,945	
23	93,029	—	848	148,709	7,737	35,030	32,259	96,936	17,061	47,973	23,685	1,756	18,963	13,819	118,687	
24	92,110	1,335	1,104	152,983	6,312	34,686	31,413	95,190	15,698	48,612	23,703	1,395	22,010	13,807	121,726	
25	93,628	1,834	343	160,620	4,412	35,960	31,807	92,158	15,233	49,791	23,345	1,233	21,041	13,540	118,756	
26	91,469	2,760	773	163,141	2,668	33,754	32,135	99,877	16,024	52,244	23,239	1,434	24,201	14,889	115,915	
27	91,542	2,397	372	174,561	126	33,844	33,212	95,595	15,506	53,658	22,878	2,205	23,399	15,222	103,995	
28	84,568	3,112	806	170,778	—	33,636	34,268	95,902	15,990	54,177	21,937	2,530	22,136	14,649	103,462	
29	76,103	4,202	327	168,045	—	33,264	34,909	95,794	15,257	53,171	21,202	2,642	16,581	14,838	104,727	
30	73,841	8,305	143	170,079	—	33,282	34,672	94,183	14,911	54,062	20,041	2,892	16,225	14,250	104,202	
令和 元	68,632	6,489	124	168,437	—	33,374	31,977	94,274	14,458	55,142	19,023	3,379	14,922	13,005	102,048	
2	39,999	3,730	77	118,873	—	16,377	14,844	69,529	8,312	33,145	17,904	2,928	7,813	8,922	38,657	

2 結核健診



2-1 結核定期健康診断等

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、65歳以上の一般住民（市町村が必要と認めた場合は65歳未満の住民も実施）、事業所の業務従事者並びに施設の業務従事者及び入居者、学校の教職員・生徒・学生に対し結核定期健康診断を実施した。

健診実績は196,311人（一般住民105,690人、事業所69,960人、学校20,661人）であった。

表2-1-1 年度別健診実績(胸部X線検査)

単位:人(%)

年度	総 数			一般住民		事業所		学 校	
	受診者	要精密検査		受診者	要精密検査	受診者	要精密検査	受診者	要精密検査
平成 22	310,274	9,574 (3.1)		196,626	5,215 (2.7)	80,960	3,902 (4.8)	32,688	457 (1.4)
23	302,134	9,053 (3.0)		189,864	5,001 (2.6)	79,749	3,718 (4.7)	32,521	334 (1.0)
24	298,423	10,743 (3.6)		191,158	6,085 (3.2)	75,787	4,312 (5.7)	31,478	346 (1.1)
25	304,423	10,980 (3.6)		194,920	6,631 (3.4)	78,324	4,013 (5.1)	31,179	336 (1.1)
26	305,897	10,759 (3.5)		195,348	7,052 (3.6)	78,846	3,415 (4.3)	31,703	292 (0.9)
27	306,062	8,842 (2.9)		198,278	6,204 (3.1)	79,215	2,429 (3.1)	28,569	209 (0.7)
28	304,901	7,368 (2.4)		196,021	4,795 (2.4)	79,694	2,445 (3.1)	29,186	128 (0.4)
29	294,739	8,247 (2.8)		191,600	5,335 (2.8)	77,165	2,798 (3.6)	25,974	114 (0.4)
30	295,299	10,558 (3.6)		192,853	6,028 (3.1)	77,357	4,435 (5.7)	25,089	95 (0.4)
令和 元	290,978	10,911 (3.7)		190,355	6,347 (3.3)	76,324	4,327 (5.7)	24,299	237 (1.0)
2	196,311	7,486 (3.8)		105,690	2,734 (2.6)	69,960	4,431 (6.3)	20,661	321 (1.6)

表2-1-2 住民健診実績

単位:人(%)

	総 数			39 歳 以 下			40 歳 以 上		
	受診者	要精密検査		受診者	要精密検査		受診者	要精密検査	
合 計	105,690	2,734	(2.6)	2,981	10	(0.3)	102,709	2,724	(2.7)

表2-1-3 事業所実績

単位:人(%)

	総 数			結 核 健 診			結 核 ・ 肺 が ん 検 診		
	受診者	要精密検査		受診者	要精密検査		受診者	要精密検査	
合 計	69,960	4,431	(6.3)	37,668	3,449	(9.2)	32,292	982	(3.0)

※ 人間ドック及び県外事業所含む

表2-1-4 学校（区分別）実績

単位:人(%)

	総 数	生 徒 ・ 学 生			教 職 員		
		受診者	要精密検査		受診者	要精密検査	
合 計	20,661	15,947	229	(1.4)	4,714	92	(2.0)
私立保育・幼稚園	-	-	-	-	-	-	-
私立小・中学校	55	55	-	(0.0)	-	-	-
私立高等学校	3,233	3,233	31	(1.0)	-	-	-
高等専門学校	209	209	1	(0.5)	-	-	-
短大・大学・他	12,443	12,443	195	(1.6)	-	-	-
特別支援学校	7	7	2	(28.6)	-	-	-
市町村立学校	4,714	-	-	-	4,714	92	(2.0)

※ 市町村立学校のうち、市町村職員健診として実施している公立幼稚園職員は受診者数に含まない。

表2-1-5 年度別 I G R A 検査実績（結核患者接触者及び医療従事者）

単位:人(%)

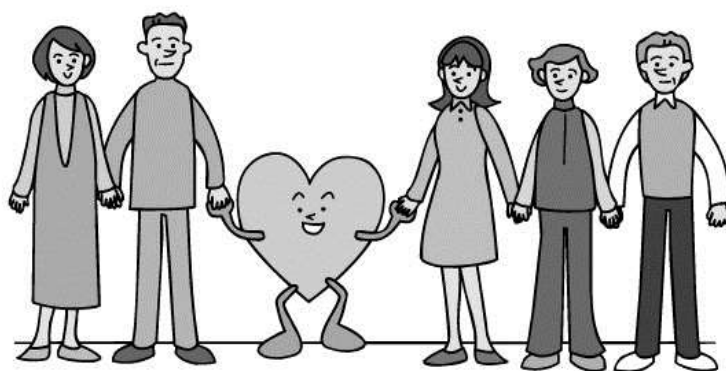
年度	受検者	陰性			陽性		判定不可		判定保留	
平成 23	1,756	1,355	(77.2)		185	(10.5)	–	(0.0)	216	(12.3)
24	1,395	1,221	(87.5)		87	(6.2)	2	(0.1)	85	(6.1)
25	1,233	1,090	(88.4)		80	(6.5)	13	(1.1)	50	(4.1)
26	1,434	1,249	(87.1)		88	(6.1)	6	(0.4)	91	(6.3)
27	2,205	2,014	(91.3)		99	(4.5)	1	(0.05)	91	(4.1)
28	2,530	2,275	(89.9)		138	(5.5)	5	(0.2)	112	(4.4)
29	2,642	2,412	(91.3)		124	(4.7)	1	(0.04)	105	(4.0)
30	2,892	2,580	(89.2)		149	(5.2)	3	(0.1)	160	(5.5)
令和 元	3,379	3,193	(94.5)		180	(5.3)	6	(0.2)	–	(0.0)
2	2,928	2,768	(94.5)		152	(5.2)	8	(0.3)	–	(0.0)

表2-1-6 保健所別 I G R A 検査実績（県受託分）

単位:人(%)

	受検者	陰性			陽性		判定不可	
合 計	1,525	1,381	(90.6)		136	(8.9)	8	(0.5)
水 戸 市	63	51	(81.0)		10	(15.9)	2	(3.2)
中 央	85	74	(87.1)		11	(12.9)	–	(0.0)
ひたちなか	150	135	(90.0)		15	(10.0)	–	(0.0)
日 立	76	71	(93.4)		5	(6.6)	–	(0.0)
潮 来	34	30	(88.2)		4	(11.8)	–	(0.0)
竜 ケ 崎	275	259	(94.2)		14	(5.1)	2	(0.7)
土 浦	209	193	(92.3)		16	(7.7)	–	(0.0)
つ く ば	316	276	(87.3)		36	(11.4)	4	(1.3)
筑 西	243	225	(92.6)		18	(7.4)	–	(0.0)
古 河	74	67	(90.5)		7	(9.5)	–	(0.0)

3 地域保健



3－1 特定健康診査等

令和2年度の特定健康診査等は、県内37市町村で114,835人に実施した。

健診区分別では、特定健康診査78,712人(68.5%)〔うち市町村国保65,641人(83.4%)、被用者保険等13,071人(16.6%)〕、高齢者健康診査26,248人(22.9%)、生活習慣病予防健診9,875人(8.6%)である。

特定健康診査に付加されるメタボリックシンドローム判定で、「予備群該当」又は「該当」いずれかになった者の割合は27.1%、保健指導レベルで「動機づけ支援」又は「積極的支援」のいずれかに該当した者の割合は14.0%であった。

実績年度推移では、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての健康診査・健診で大幅に減少した。

表3-1-1 年度別健診実績

単位:人

年度	総人数	特定健康診査（国保）	特定健康診査（被用者）	高齢者健康診査	生活習慣病予防健診
平成 23	203,595	134,306	14,286	33,866	21,137
24	205,148	134,703	14,311	35,206	20,928
25	211,897	136,524	18,345	36,828	20,200
26	213,005	135,538	19,804	38,225	19,438
27	215,398	133,647	21,588	40,637	19,526
28	214,647	130,056	21,968	43,134	19,489
29	210,459	124,215	21,704	45,839	18,701
30	211,691	122,091	21,957	49,356	18,287
令和 元年	209,572	119,680	20,928	51,870	17,094
2	114,835	65,641	13,071	26,248	9,875

表3-1-2 特定健康診査等実績（総計）

単位:人(%)

判 定 内 訳		実 施 数	健 診 区 分					
			特 定 健 康 診 査		高 齢 者 健 康 診 査		生 活 習 慣 病 予 防 健 診	
総 計		114,835	78,712	(68.5)	26,248	(22.9)	9,875	(8.6)
総 合 判 定	異 常 認 め ず	5,066	2,530	(3.2)	294	(1.1)	2,242	(22.7)
	要 指 導	35,482	24,112	(30.6)	6,830	(26.0)	4,540	(46.0)
	要 精 密 検 査	74,287	52,070	(66.2)	19,124	(72.9)	3,093	(31.3)
メタボリックシンドローム	非 該 当	57,361	57,361	(72.9)	-	-	-	-
	予 備 群 該 当	7,349	7,349	(9.3)	-	-	-	-
	該 当	14,002	14,002	(17.8)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-
保 健 指 導 レ ベ ル	なし（情報提供）	67,665	67,665	(86.0)	-	-	-	-
	動 機 づ け 支 援	7,986	7,986	(10.1)	-	-	-	-
	積 極 的 支 援	3,061	3,061	(3.9)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-

（男性）

単位:人(%)

判 定 内 訳		実 施 数	健 診 区 分					
			特 定 健 康 診 査		高 齢 者 健 康 診 査		生 活 習 慣 病 予 防 健 診	
総 計		46,894	29,915	(63.8)	13,492	(28.8)	3,487	(7.4)
総 合 判 定	異 常 認 め ず	1,195	515	(1.7)	171	(1.3)	509	(14.6)
	要 指 導	12,801	7,959	(26.6)	3,401	(25.2)	1,441	(41.3)
	要 精 密 検 査	32,898	21,441	(71.7)	9,920	(73.5)	1,537	(44.1)
メタボリックシンドローム	非 該 当	15,758	15,758	(52.7)	-	-	-	-
	予 備 群 該 当	4,963	4,963	(16.6)	-	-	-	-
	該 当	9,194	9,194	(30.7)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-
保 健 指 導 レ ベ ル	なし（情報提供）	23,641	23,641	(79.0)	-	-	-	-
	動 機 づ け 支 援	4,323	4,323	(14.5)	-	-	-	-
	積 極 的 支 援	1,951	1,951	(6.5)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-

（女性）

単位:人(%)

判 定 内 訳		実 施 数	健 診 区 分					
			特 定 健 康 診 査		高 齢 者 健 康 診 査		生 活 習 慣 病 予 防 健 診	
総 計		67,941	48,797	(71.8)	12,756	(18.8)	6,388	(9.4)
総 合 判 定	異 常 認 め ず	3,871	2,015	(4.1)	123	(1.0)	1,733	(27.1)
	要 指 導	22,681	16,153	(33.1)	3,429	(26.9)	3,099	(48.5)
	要 精 密 検 査	41,389	30,629	(62.8)	9,204	(72.2)	1,556	(24.4)
メタボリックシンドローム	非 該 当	41,603	41,603	(85.3)	-	-	-	-
	予 備 群 該 当	2,386	2,386	(4.9)	-	-	-	-
	該 当	4,808	4,808	(9.9)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-
保 健 指 導 レ ベ ル	なし（情報提供）	44,024	44,024	(90.2)	-	-	-	-
	動 機 づ け 支 援	3,663	3,663	(7.5)	-	-	-	-
	積 極 的 支 援	1,110	1,110	(2.3)	-	-	-	-
	判 定 不 能	-	-	(0.0)	-	-	-	-

※ 特定健康診査には、国民健康保険・被用者保険のほか、国民健康保険組合・全額自己負担実施者（特定健診扱い）を含む。

３－２ 肝炎ウイルス検診

地域住民を対象に、県内37市町村で7,813人（うちB型肝炎ウイルス検査単独2人、C型肝炎ウイルス検査単独1人）に実施した。

C型肝炎ウイルス検査では、受診者7,811人のうち、判定結果が「感染している可能性が高い者」は、23人(0.3%)であった。

B型肝炎ウイルス検査では、受診者7,812人のうち、判定結果が「陽性」は14人(0.2%)であった。

表3-2-1 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	総受診者	C型肝炎ウイルス検査		B型肝炎ウイルス検査	
		受診者	感染の可能性が高い者	受診者	陽性者
平成 22	10,466	10,462	50 (0.5)	10,457	72 (0.7)
23	17,921	17,913	95 (0.5)	17,909	113 (0.6)
24	21,158	21,151	118 (0.6)	21,144	118 (0.6)
25	20,366	20,365	81 (0.4)	20,363	108 (0.5)
26	23,517	23,516	96 (0.4)	23,513	97 (0.4)
27	22,689	22,687	87 (0.4)	22,687	91 (0.4)
28	22,136	22,135	77 (0.3)	22,133	99 (0.4)
29	16,581	16,579	50 (0.3)	16,579	70 (0.4)
30	16,225	16,222	45 (0.3)	16,224	73 (0.4)
令和 元	14,922	14,920	41 (0.3)	14,922	50 (0.3)
2	7,813	7,811	23 (0.3)	7,812	14 (0.2)

3-3 二次予防事業対象者把握事業

実施市町村が年々減少し、令和2年度は1町のみで、実施者数は1,249人であった。

うち二次予防事業対象者の人数は345人（27.6％）であった。

表3-3-1 年度別事業実績

単位:人(%)

年 度	実施 者数	業 二 対 次 象 予 防 事 業 数	二次予防事業対象者選定要因内訳				閉 じ こ も り 予 防 ・ 支 援	認 知 症 予 防 ・ 支 援	う つ 予 防 ・ 支 援
			10 項 目 以 上 該 当	運 動 機 能 向 上	栄 養 改 善	口 腔 機 能 向 上			
平成 26	37,567	8,404 (22.4)	1,589 (4.2)	4,402 (11.7)	364 (1.0)	5,237 (13.9)	1,311 (3.5)	4,095 (10.9)	4,433 (11.8)
27	16,507	3,620 (21.9)	669 (4.1)	1,868 (11.3)	148 (0.9)	2,315 (14.0)	547 (3.3)	1,732 (10.5)	1,847 (11.2)
28	9,864	2,077 (21.1)	394 (4.0)	1,154 (11.7)	90 (0.9)	1,229 (12.5)	321 (3.3)	914 (9.3)	915 (9.3)
29	1,051	287 (27.3)	50 (4.8)	186 (17.7)	4 (0.4)	156 (14.8)	56 (5.3)	130 (12.4)	120 (11.4)
30	1,034	294 (28.4)	58 (5.6)	171 (16.5)	8 (0.8)	175 (16.9)	37 (3.6)	126 (12.2)	139 (13.4)
令和 元	1,035	264 (25.5)	47 (4.5)	145 (14.0)	5 (0.5)	152 (14.7)	42 (4.1)	126 (12.2)	133 (12.9)
2	1,249	345 (27.6)	80 (6.4)	202 (16.2)	11 (0.9)	198 (15.9)	76 (6.1)	165 (13.2)	172 (13.8)

※ 重複回答があるため延べ人数

３－４ 肺がん検診

胸部X線検査は、受診者数102,709人、要精密検査者2,707人(2.6%)、精密検査受診者2,325人(85.9%)、発見がん数は71人(0.07%)であった。

喀痰細胞診検査は、受診者数1,309人、要精密検査者1人(0.1%)、精密検査受診者1人(100.0%)、発見がん数は0人(0.00%)であった。

胸部ＣＴ検査は、受診者数115人、要精密検査者5人(4.3%)、精密検査受診者5人(100.0%)、発見がん数は0人(0.00%)であった。

表3-4-1 年度別検診実績(胸部X線検査)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	189,702	5,112 (2.7)	4,319 (84.5)	101 (0.05)	(1.98)
23	183,975	4,835 (2.6)	4,173 (86.3)	90 (0.05)	(1.86)
24	185,146	5,718 (3.1)	4,888 (85.5)	122 (0.07)	(2.13)
25	189,229	6,381 (3.4)	5,584 (87.5)	148 (0.08)	(2.32)
26	190,016	6,911 (3.6)	5,969 (86.4)	134 (0.07)	(1.94)
27	192,965	6,108 (3.2)	5,143 (84.2)	138 (0.07)	(2.26)
28	190,839	4,729 (2.5)	3,956 (83.7)	113 (0.06)	(2.39)
29	186,978	5,297 (2.8)	4,552 (85.9)	132 (0.07)	(2.49)
30	188,443	5,944 (3.2)	5,149 (86.6)	131 (0.07)	(2.20)
令和 元	186,232	6,278 (3.4)	5,391 (85.9)	150 (0.08)	(2.39)
2	102,709	2,707 (2.6)	2,325 (85.9)	71 (0.07)	(2.62)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-4-2 年度別検診実績(喀痰細胞診検査)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	3,425	15 (0.4)	12 (80.0)	5 (0.15)	(33.33)
23	3,115	8 (0.3)	6 (75.0)	1 (0.03)	(12.50)
24	3,176	7 (0.2)	7 (100.0)	2 (0.06)	(28.57)
25	3,104	8 (0.3)	7 (87.5)	6 (0.19)	(75.00)
26	3,115	4 (0.1)	4 (100.0)	1 (0.03)	(25.00)
27	2,811	12 (0.4)	11 (91.7)	3 (0.11)	(25.00)
28	2,451	7 (0.3)	7 (100.0)	2 (0.08)	(28.57)
29	2,195	9 (0.4)	9 (100.0)	1 (0.05)	(11.11)
30	2,002	7 (0.3)	6 (85.7)	3 (0.15)	(42.86)
令和 元	2,019	4 (0.2)	2 (50.0)	1 (0.05)	(25.00)
2	1,309	1 (0.1)	1 (100.0)	－ (0.00)	(0.00)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-4-3 年度別検診実績(胸部ＣＴ検査)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査		精検受診者		発見がん		陽性反応適中度
平成 22	231	16	(6.9)	13	(81.3)	－	(0.00)	(0.00)
23	221	22	(10.0)	18	(81.8)	－	(0.00)	(0.00)
24	200	13	(6.5)	11	(84.6)	－	(0.00)	(0.00)
25	181	19	(10.5)	17	(89.5)	1	(0.55)	(5.26)
26	198	26	(13.1)	24	(92.3)	1	(0.51)	(3.85)
27	202	22	(10.9)	18	(81.8)	－	(0.00)	(0.00)
28	176	21	(11.9)	18	(85.7)	2	(1.14)	(9.52)
29	166	11	(6.6)	9	(81.8)	－	(0.00)	(0.00)
30	192	7	(3.6)	7	(100.0)	－	(0.00)	(0.00)
令和 元	178	17	(9.6)	16	(94.1)	－	(0.00)	(0.00)
2	115	5	(4.3)	5	(100.0)	－	(0.00)	(0.00)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

3-5 胃がん検診

X線検査の実績は、受診者31,219人に対し、要精密検査者が1,928人(6.2%)、精密検査受診者1,588人(82.4%)、発見がんは29人(0.09%)で、うち22人(75.9%)が早期がんであった。

ペプシノゲン検査の実績は、受診者76人に対し、要精密検査者7人(9.2%)で、精密検査受診者は4人(57.1%)であった。

胃がんリスク検診の実績は、受診者2,171人に対し胃疾患の危険群に属する人は650人(29.9%)であった。

表3-5-1 年度別検診実績(X線検査)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	82,460	11,509 (14.0)	9,570 (83.2)	128 (0.16)	(1.11)
23	81,217	10,501 (12.9)	8,767 (83.5)	106 (0.13)	(1.01)
24	80,871	8,689 (10.7)	7,257 (83.5)	117 (0.14)	(1.35)
25	80,746	7,763 (9.6)	6,606 (85.1)	122 (0.15)	(1.57)
26	79,681	7,273 (9.1)	6,157 (84.7)	118 (0.15)	(1.62)
27	80,580	7,065 (8.8)	5,892 (83.4)	93 (0.12)	(1.32)
28	74,543	5,891 (7.9)	4,877 (82.8)	82 (0.11)	(1.39)
29	66,395	5,311 (8.0)	4,457 (83.9)	96 (0.14)	(1.81)
30	64,215	4,768 (7.4)	3,952 (82.9)	95 (0.15)	(1.99)
令和 元	59,722	3,851 (6.4)	3,227 (83.8)	80 (0.13)	(2.08)
2	31,219	1,928 (6.2)	1,588 (82.4)	29 (0.09)	(1.50)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-5-2 年度別検診実績(ペプシノゲン検査)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	135	13 (9.6)	9 (69.2)	－ (0.00)	(0.00)
23	64	8 (12.5)	4 (50.0)	－ (0.00)	(0.00)
24	98	8 (8.2)	5 (62.5)	－ (0.00)	(0.00)
25	82	4 (4.9)	2 (50.0)	－ (0.00)	(0.00)
26	122	17 (13.9)	13 (76.5)	－ (0.00)	(0.00)
27	197	21 (10.7)	3 (14.3)	－ (0.00)	(0.00)
28	218	19 (8.7)	14 (73.7)	－ (0.00)	(0.00)
29	161	15 (9.3)	5 (33.3)	－ (0.00)	(0.00)
30	142	7 (4.9)	6 (85.7)	－ (0.00)	(0.00)
令和 元	124	7 (5.6)	4 (57.1)	－ (0.00)	(0.00)
2	76	7 (9.2)	4 (57.1)	－ (0.00)	(0.00)

表3-5-3 年度別検診実績(胃がんリスク検診)

単位:人(%)

年度	受診者	判 定 内 訳							
		A群		B群		C群		D群	
		胃粘膜は健康的		胃疾患の軽度危険群		胃疾患の中等度危険群		胃疾患の高危険群	
平成 28	895	582	(65.0)	141	(15.8)	162	(18.1)	10	(1.1)
29	1,036	683	(65.9)	159	(15.3)	176	(17.0)	18	(1.7)
30	6,157	4,126	(67.0)	977	(15.9)	926	(15.0)	128	(2.1)
令和 元	4,929	3,296	(66.9)	717	(14.5)	794	(16.1)	122	(2.5)
2	2,171	1,521	(70.1)	363	(16.7)	238	(11.0)	49	(2.3)

３－６ 大腸がん検診

検診実績は、受診者96,633人に対し、要精密検査者が7,223人(7.5%)、精密検査受診者が5,647人(78.2%)、発見がんが176人(0.18%)で、うち107人(60.8%)が早期がんであった。

表3-6-1 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	121,931	8,522 (7.0)	6,226 (73.1)	208 (0.17)	(2.44)
23	134,052	9,375 (7.0)	6,900 (73.6)	216 (0.16)	(2.30)
24	137,013	9,508 (6.9)	6,927 (72.9)	251 (0.18)	(2.64)
25	142,703	10,308 (7.2)	7,815 (75.8)	275 (0.19)	(2.67)
26	144,966	11,014 (7.6)	8,431 (76.5)	320 (0.22)	(2.91)
27	155,380	11,053 (7.1)	8,381 (75.8)	279 (0.18)	(2.52)
28	151,827	10,516 (6.9)	7,802 (74.2)	240 (0.16)	(2.28)
29	147,452	10,405 (7.1)	7,867 (75.6)	283 (0.19)	(2.72)
30	149,542	10,232 (6.8)	7,816 (76.4)	279 (0.19)	(2.73)
令和 元	147,659	10,064 (6.8)	7,837 (77.9)	285 (0.19)	(2.83)
2	96,633	7,223 (7.5)	5,647 (78.2)	176 (0.18)	(2.44)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

３－７ 乳がん検診

乳房Ｘ線検査は15,051人の受診者に対し、要精密検査者420人(2.8%)、精密検査受診者405人(96.4%)で、発見がんは34人(0.23%)、うち早期がんは27人(79.4%)であった。

超音波検査は13,161人の受診者に対し、要精密検査者348人(2.6%)、精密検査受診者328人(94.3%)で、発見がんは38人(0.29%)、うち早期がんは33人(86.8%)であった。

表3-7-1 年度別検診実績(乳房Ｘ線)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	33,230	1,768 (5.3)	1,643 (92.9)	56 (0.17)	(3.17)
23	34,102	1,746 (5.1)	1,627 (93.2)	68 (0.20)	(3.89)
24	33,824	1,659 (4.9)	1,559 (94.0)	73 (0.22)	(4.40)
25	34,867	1,898 (5.4)	1,763 (92.9)	83 (0.24)	(4.37)
26	32,722	1,682 (5.1)	1,564 (93.0)	98 (0.30)	(5.83)
27	32,776	1,367 (4.2)	1,281 (93.7)	80 (0.24)	(5.85)
28	32,560	1,140 (3.5)	1,063 (93.2)	80 (0.25)	(7.02)
29	32,061	1,089 (3.4)	1,045 (96.0)	83 (0.26)	(7.62)
30	32,336	1,133 (3.5)	1,078 (95.1)	82 (0.25)	(7.24)
令和 元	32,283	933 (2.9)	886 (95.0)	100 (0.31)	(10.72)
2	15,051	420 (2.8)	405 (96.4)	34 (0.23)	(8.10)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

表3-7-2 年度別検診実績(乳房超音波)

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	29,544	1,087 (3.7)	994 (91.4)	43 (0.15)	(3.96)
23	30,729	1,130 (3.7)	1,044 (92.4)	38 (0.12)	(3.36)
24	29,970	1,016 (3.4)	939 (92.4)	38 (0.13)	(3.74)
25	30,235	815 (2.7)	754 (92.5)	59 (0.20)	(7.24)
26	30,601	700 (2.3)	646 (92.3)	53 (0.17)	(7.57)
27	31,849	740 (2.3)	688 (93.0)	68 (0.21)	(9.19)
28	32,749	822 (2.5)	770 (93.7)	54 (0.16)	(6.57)
29	33,362	804 (2.4)	751 (93.4)	77 (0.23)	(9.58)
30	33,162	684 (2.1)	654 (95.6)	73 (0.22)	(10.67)
令和 元	30,500	664 (2.2)	625 (94.1)	72 (0.24)	(10.84)
2	13,161	348 (2.6)	328 (94.3)	38 (0.29)	(10.92)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

3-8 子宮がん検診

子宮頸がん検診の受診者は、令和元年度に比べて24,688人減の67,662人であり、その内訳は巡回検診で22,439人、医療機関検診で45,223人であった。要精密検査者数は巡回検診で221人(1.0%)、医療機関検診で902人(2.0%)であり、その合計は1,123人であった。精密検査受診率は、巡回検診87.3%、医療機関検診91.5%であった。

発見されたCIN3及びAISは、巡回検診16人(0.07%)で、医療機関検診では61人(0.13%)であった。また、発見されたがんの数は、巡回検診で3人(0.01%)、医療機関検診で13人(0.03%)であった。

表3-8-1 年度別検診実績(巡回)

単位: 人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見CIN3 及びAIS	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	53,275	607 (1.1)	546 (90.0)	- -	30 (0.06)	(4.94)
23	54,634	702 (1.3)	632 (90.0)	- -	35 (0.06)	(4.99)
24	52,480	934 (1.8)	848 (90.8)	- -	31 (0.06)	(3.32)
25	51,787	893 (1.7)	814 (91.2)	66 (0.13)	4 (0.01)	(0.45)
26	50,955	849 (1.7)	735 (86.6)	54 (0.11)	5 (0.01)	(0.59)
27	50,049	732 (1.5)	646 (88.3)	56 (0.11)	6 (0.01)	(0.82)
28	48,595	708 (1.5)	585 (82.6)	42 (0.09)	11 (0.02)	(1.55)
29	48,184	697 (1.4)	639 (91.7)	61 (0.13)	9 (0.02)	(1.29)
30	47,420	588 (1.2)	530 (90.1)	43 (0.09)	8 (0.02)	(1.36)
令和 元	45,957	624 (1.4)	585 (93.8)	33 (0.07)	9 (0.02)	(1.44)
2	22,439	221 (1.0)	193 (87.3)	16 (0.07)	3 (0.01)	(1.36)

表3-8-2 年度別検診実績(医療機関)

単位: 人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見CIN3 及びAIS	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	40,017	1,051 (2.6)	886 (84.3)	- -	45 (0.11)	(4.28)
23	40,690	1,143 (2.8)	988 (86.4)	- -	46 (0.11)	(4.02)
24	40,981	1,131 (2.8)	971 (85.9)	- -	34 (0.08)	(3.01)
25	38,553	1,304 (3.4)	1,201 (92.1)	111 (0.29)	7 (0.02)	(0.54)
26	47,301	1,602 (3.4)	1,391 (86.8)	120 (0.25)	7 (0.01)	(0.44)
27	43,814	1,118 (2.6)	1,049 (93.8)	63 (0.14)	14 (0.03)	(1.25)
28	45,649	1,113 (2.4)	950 (85.4)	57 (0.12)	11 (0.02)	(0.99)
29	45,922	1,092 (2.4)	973 (89.1)	90 (0.20)	17 (0.04)	(1.56)
30	44,962	962 (2.1)	881 (91.6)	67 (0.15)	10 (0.02)	(1.04)
令和 元	46,393	1,016 (2.2)	946 (93.1)	56 (0.12)	8 (0.02)	(0.79)
2	45,223	902 (2.0)	825 (91.5)	61 (0.13)	13 (0.03)	(1.44)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ CIN3は、高度異形成と上皮内癌を一括したもの

※ AISは、上皮内腺癌のこと

※ 平成24年度までは、発見がんには上皮内癌と上皮内腺癌を含む。平成25年度からは上皮内癌と上皮内腺癌は発見CIN3及びAISを含む。

表3-8-3 検診実績

単位:人(%)

	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見CIN3 及びAIS	発見がん	陽性反応適中度
頸がん検診	67,662	1,123 (1.7)	1,018 (90.7)	77	16 (0.02)	(1.42)
体がん検診	2,116	84 (4.0)	76 (90.5)		2 (0.09)	(2.38)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

※ CIN3は、高度異形成と上皮内癌を一括したもの

※ AISは、上皮内腺癌のこと

表3-8-4 受託検査実績

単位:人

受託検体数			判定内訳								
			異常なし			要精密検査			判定不能		
頸部	体部	計	頸部	体部	計	頸部	体部	計	頸部	体部	計
6,410	655	7,065	5,988	547	6,535	413	73	486	9	35	44

表3-8-5 HPV検査実績

単位:人(%)

		受診者	判定内訳					
			陰性			陽性		判定不確定
合 計	巡回	17	16	(94.1)		1	(5.9)	-
	医療	2,151	1,979	(92.0)		170	(7.9)	2 (0.09)
	計	2,168	1,995	(92.0)		171	(7.9)	2 (0.09)
水 戸 市	巡回	-	-	-		-	-	-
	医療	2,127	1,958	(92.1)		167	(7.9)	2 (0.09)
	計	2,127	1,958	(92.1)		167	(7.9)	2 (0.09)
常 総 市	巡回	11	10	(90.9)		1	(9.1)	-
	医療	24	21	(87.5)		3	(12.5)	-
	計	35	31	(88.6)		4	(11.4)	-
小 美 玉 市	巡回	6	6	(100.0)		-	-	-
	医療	-	-	-		-	-	-
	計	6	6	(100.0)		-	-	-

※ハイブリッドキャプチャー法により、ハイリスク型HPV群について検査

３－９ 腹部超音波検診

受診者数6,217人に対し、要精密検査者が535人(8.6%)、そのうち精密検査受診者が454人(84.9%)で、10人(0.16%)のがんが発見された。

表3-9-1 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	13,285	1,028 (7.7)	788 (76.7)	11 (0.08)	(1.07)
23	13,730	1,014 (7.4)	768 (75.7)	7 (0.05)	(0.69)
24	13,685	858 (6.3)	665 (77.5)	7 (0.05)	(0.82)
25	12,865	834 (6.5)	671 (80.5)	8 (0.06)	(0.96)
26	13,672	821 (6.0)	659 (80.3)	6 (0.04)	(0.73)
27	13,101	663 (5.1)	520 (78.4)	12 (0.09)	(1.81)
28	13,627	881 (6.5)	712 (80.8)	9 (0.07)	(1.02)
29	12,816	1,052 (8.2)	870 (82.7)	18 (0.14)	(1.71)
30	12,458	1,215 (9.8)	1,000 (82.3)	16 (0.13)	(1.32)
令和 元	12,346	1,052 (8.5)	877 (83.4)	10 (0.08)	(0.95)
2	6,217	535 (8.6)	454 (84.9)	10 (0.16)	(1.87)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

３－１０ 前立腺がん検診

受診者数30,311人に対して、要精密検査者が2,376人(7.8%)、精密検査受診者1,745人(73.4%)であった。また、その中からは131人(0.43%)の前立腺がんが発見された。

表3-10-1 年度別検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要精密検査	精密検査受診者	発見がん	陽性反応適中度
平成 22	42,329	2,412 (5.7)	1,581 (65.5)	159 (0.38)	(6.59)
23	44,185	3,005 (6.8)	2,106 (70.1)	188 (0.43)	(6.26)
24	44,994	2,916 (6.5)	1,976 (67.8)	156 (0.35)	(5.35)
25	46,338	3,229 (7.0)	2,346 (72.7)	250 (0.54)	(7.74)
26	48,355	3,142 (6.5)	2,147 (68.3)	232 (0.48)	(7.38)
27	49,863	3,712 (7.4)	2,566 (69.1)	253 (0.51)	(6.82)
28	50,460	3,971 (7.9)	2,694 (67.8)	216 (0.43)	(5.44)
29	49,644	3,958 (8.0)	2,784 (70.3)	261 (0.53)	(6.59)
30	50,752	4,140 (8.2)	2,952 (71.3)	258 (0.51)	(6.23)
令和 元	51,998	4,019 (7.7)	2,926 (72.8)	235 (0.45)	(5.85)
2	30,311	2,376 (7.8)	1,745 (73.4)	131 (0.43)	(5.51)

※ 陽性反応適中度は、発見がん数÷要精密検査数

3-1-1 骨粗鬆症検診

県内28市町村で8,362人に実施し、判定内訳は要指導3,413人(40.8%)、要精密検査1,358人(16.2%)であった。前年度と比較すると、受診者数は、3,960人(32.1%)の減少となっている。

表3-11-1 年度別検診実績

単位:人(%)

年度		受診者	異常認めず	要指導	要精密検査
平成	22	10,903	4,347 (39.9)	4,531 (41.6)	2,025 (18.6)
	23	12,968	6,098 (47.0)	5,189 (40.0)	1,681 (13.0)
	24	12,834	6,503 (50.7)	4,888 (38.1)	1,443 (11.2)
	25	12,870	5,791 (45.0)	5,195 (40.4)	1,884 (14.6)
	26	14,298	6,333 (44.3)	5,695 (39.8)	2,270 (15.9)
	27	14,701	6,557 (44.6)	6,041 (41.1)	2,103 (14.3)
	28	13,964	6,248 (44.7)	5,600 (40.1)	2,116 (15.2)
	29	14,216	6,267 (44.1)	5,710 (40.2)	2,239 (15.7)
	30	13,755	5,922 (43.1)	5,537 (40.3)	2,296 (16.7)
令和	元	12,322	5,081 (41.2)	4,969 (40.3)	2,272 (18.4)
	2	8,362	3,591 (42.9)	3,413 (40.8)	1,358 (16.2)

3-12 風しん抗体検査

県内44市町村で2,870人に実施した。事業所健診及び特定健診の機会を活用して、職域で1,745人(60.8%)、地域で1,125人(39.2%)が受検した。

表3-12-1 年度別検査実績

		単位:人		
年 度		総 数	職域	地域
令和 元		6,511	1,794	4,717
2		2,870	1,745	1,125

3-13 新型コロナウイルス感染症検査

クラスター発生地域や福祉施設等における一斉検査、並びに緊急検査などの行政検査を茨城県及び各保健所から受託するとともに、個人や事業所等からの申込みによる検査も併せて、抗原定量検査及びPCR検査を延べ50,555件実施した。内訳は、抗原定量検査が48,565件(96.1%)、PCR検査が1,990件(3.9%)であった。受託割合は、行政検査が43,959件(87.0%)、個人・事業所が6,596件(13.0%)であった。

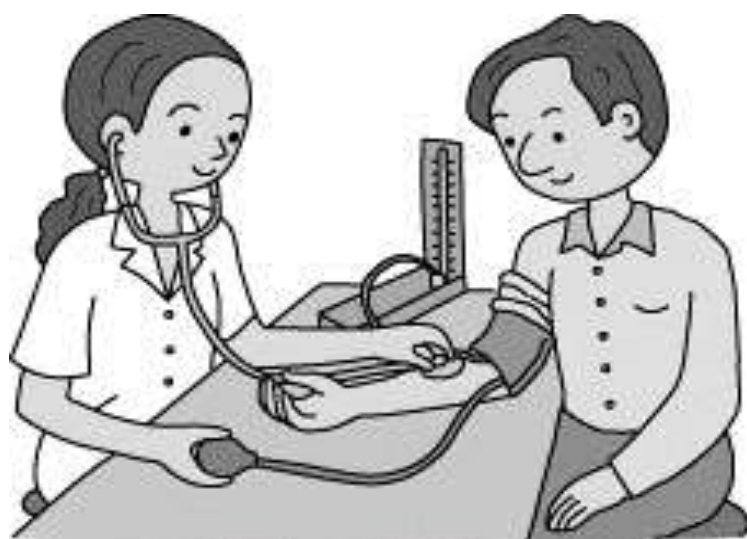
表3-13-1 検査方法別実績

		単位:人		
年 度		総 数	抗原定量	PCR
令和 2		50,555	48,565	1,990

表3-13-2 受託別実績

		単位:人		
年 度		総 数	行政	個人・事業所
令和 2		50,555	43,959	6,596

4 職域保健



4－1 定期健康診断等

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断が38,574人(43.8%)、同規則第45条の特定業務従事者の健康診断が9,687人(11.0%)、協会けんぽ(全国健康保険協会生活習慣病予防健診)については12,297人(14.0%)、その他の健診として人事院規則に基づく定期健康診断や事業所が独自に指定した健康診断を27,584人(31.3%)実施した。

表4-1-1 健診実績

単位:人

	定期健康診断	協会けんぽ	特定業務従事者 健康診断	その他 健診コース
合 計	38,574	12,297	9,687	27,584
巡 回 健 診	34,577	10,930	9,350	27,343
施 設 内 検 診	3,997	1,367	337	241

表4-1-2 年度別健診実績

単位:人

年 度	巡回健診	施設内健診
平成 23	82,059	5,810
24	74,970	5,715
25	88,684	6,677
26	80,054	6,344
27	83,073	6,306
28	84,651	6,544
29	86,023	6,322
30	85,477	6,534
令和 元	83,869	6,733
2	82,200	5,942

表4-1-3 検査項目別実績

単位:人

検査項目		総 数		男 性		女 性		検査項目		総 数		男 性		女 性	
		検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者			検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者	検 査 人 員	有 所 見 者
胸 部 X 線 デジタ ー 撮 影		80,450	8,310	44,989	5,006	35,461	3,304	脂 質 検 査	HDLコレステロール	76,755	3,120	45,426	2,767	31,329	353
身 体 計 測		85,960	31,827	51,642	20,153	34,318	11,674		中 性 脂 肪	76,755	15,469	45,426	11,859	31,329	3,610
腹 囲 測 定		76,200	-	46,485	-	29,715	-		LDLコレステロール	76,155	38,333	45,024	23,817	31,131	14,516
視 力		86,004	15,988	51,399	9,214	34,605	6,774		総コレステロール	22,470	-	13,186	-	9,284	-
聴 力 検 査	聴 力 (会 話 法)	1,984	3	921	2	1,063	1		β リ ポ 蛋 白	-	-	-	-	-	-
	聴力1000 Hz	81,243	2,561	49,048	1,540	32,195	1,021	腎 機 能	尿 酸	35,938	4,910	22,479	4,634	13,459	276
	聴力4000 Hz	81,243	5,080	49,048	4,184	32,195	896		尿 素 窒 素	8,056	671	5,372	388	2,684	283
血 圧		85,386	26,178	50,795	18,664	34,591	7,514		クレアチニン	-	-	-	-	-	-
尿 検 査	尿 蛋 白	85,175	2,033	51,075	1,517	34,100	516		e G F R	49,534	3,825	30,223	2,450	19,311	1,375
	尿 糖	85,553	2,684	51,075	2,159	34,478	525	血 清 蛋 白	総 蛋 白	5,859	620	3,909	450	1,950	170
	尿 潜 血	58,141	5,094	34,806	1,992	23,335	3,102		アルブミン	982	156	520	35	462	121
	尿ウロビリノーゲン	7,157	1	4,715	1	2,442	-		A / G 比	442	67	229	21	213	46
	尿 p H	1,277	19	1,171	16	106	3	糖 代 謝	随 時 血 糖	74,933	11,651	44,373	8,540	30,560	3,111
	尿 ケ ト ン 体	-	-	-	-	-	-		ヘモグロビンA1c	75,759	23,790	44,642	14,001	31,117	9,789
心 電 図		73,989	12,927	43,251	8,149	30,738	4,778	貧 血 検 査	貧 血 検 査	77,399	22,907	45,205	13,011	32,194	9,896
心不全リスク検査		661	26	421	12	240	14		赤 血 球 沈 降 速 度	-	-	-	-	-	-
眼 底 検 査		9,282	1,248	6,436	916	2,846	332		白 血 球 数	56,096	5,586	32,880	3,076	23,216	2,510
眼 圧 検 査		324	7	144	6	180	1		血 小 板 数	5,102	674	3,744	437	1,358	237
肺 機 能 検 査		-	-	-	-	-	-		血 清 フェリチン	981	615	88	38	893	577
肝 機 能 検 査	A S T	75,832	9,064	44,535	7,363	31,297	1,701		血 清 鉄	1,173	362	135	28	1,038	334
	A L T	75,832	16,931	44,535	14,370	31,297	2,561		T I B C	981	442	88	43	893	399
	A L P	24,174	1,559	14,097	854	10,077	705		T S %	981	557	88	41	893	516
	γ - G T	75,829	12,271	44,533	10,383	31,296	1,888		白 血 球 百 分 率	890	112	704	79	186	33
	コリンエステラーゼ	492	29	280	15	212	14	肝 炎 検 査	H C V 抗 体	2,775	4	1,052	-	1,723	4
	総ビリルビン	4,733	426	3,524	268	1,209	158		H B s 抗 体	3,513	-	1,993	-	1,520	-
	L D H	7,058	1,135	5,342	873	1,716	262		H B s 抗 原	4,152	14	2,148	5	2,004	9
	T T T	-	-	-	-	-	-	梅 毒 検 査	T P 抗 体	644	-	455	-	189	-
	Z T T	-	-	-	-	-	-		R P R	644	-	455	-	189	-
腭	血清アミラーゼ	17,911	1,263	11,460	835	6,451	428	血 清 学	R A	-	-	-	-	-	-
									抗 CCP 抗 体	51	1	19	-	32	1
									C R P	308	18	216	15	92	3

4-2 特殊健康診断

労働安全衛生法やじん肺法に基づき、有害な化学物質や物理的因子へのばく露、あるいは身体に過度の負担がかかる作業様態により起こる健康障害を未然に防止するために、各種の特殊健康診断と行政指導による情報機器作業健康診断、騒音作業健康診断を19,369人実施した。

表4-2-1 健診実績

健診項目別実績

じん肺健康診断

受診者	有所見者（％）
400	113 (28.3)

有機溶剤健康診断

受診者	有所見者（％）
4,683	313 (6.7)

鉛健康診断

受診者	有所見者（％）
165	5 (3.0)

石綿健康診断

受診者	有所見者（％）
24	14 (58.3)

行政指導に基づく特殊健康診断

情報機器健康診断

受診者	有所見者（％）
4,394	1,783 (40.6)

運転業務健康診断

受診者	有所見者（％）
149	112 (75.2)

電離放射線健康診断

受診者	有所見者（％）
4,113	1,536 (37.3)

特定化学物質健康診断

受診者	有所見者（％）
3,116	435 (14.0)

高気圧業務健康診断

受診者	有所見者（％）
0	0 -

騒音作業健康診断

受診者	有所見者（％）
2,212	329 (14.9)

レーザー光線を取り扱う業務

受診者	有所見者（％）
113	44 (38.9)

4－3 各種がん検診等

各がん検診の受診者数は、肺がん（X線） 38,031人、胃がん（X線） 8,306人、大腸がん 21,728人、乳がん（乳房X線） 1,123人、乳がん（乳房超音波） 1,639人、子宮頸がん1,645人、腹部超音波1,561人、前立腺がん2,686人であった。

表4-3-1 各種がん検診等実績数

単位:人(%)

検 診 項 目		受 診 者	要精密検査（ % ）	精密検査受診者（ % ）	発 見 が ん（ % ）
肺 が ん	X 線	38,031	290 （ 0.8 ）	188 （ 64.8 ）	1 （ 0.003 ）
	喀 痰 細 胞 診	2,011	- （ 0.0 ）	- （ - ）	- （ 0.00 ）
	胸 部 C T	147	5 （ 3.4 ）	3 （ 60.0 ）	- （ 0.00 ）
胃 が ん	X 線	8,306	307 （ 3.7 ）	174 （ 56.7 ）	- （ 0.00 ）
	ペプシノゲン	1	- （ 0.0 ）	- （ - ）	- （ 0.00 ）
	リ ス ク 検 診	1,559	235 （ 15.1 ）	追 跡 調 査 未 実 施	
大 腸 が ん		21,728	1,309 （ 6.0 ）	617 （ 47.1 ）	22 （ 0.10 ）
乳 が ん	乳 房 X 線	1,123	24 （ 2.1 ）	22 （ 91.7 ）	3 （ 0.27 ）
	乳 房 超 音 波	1,639	32 （ 2.0 ）	31 （ 96.9 ）	3 （ 0.18 ）
子 宮 頸 が ん		1,645	27 （ 1.6 ）	21 （ 77.8 ）	- （ 0.00 ）
腹 部 超 音 波		1,561	108 （ 6.9 ）	69 （ 63.9 ）	3 （ 0.19 ）
前 立 腺 が ん		2,686	132 （ 4.9 ）	67 （ 50.8 ）	- （ 0.00 ）
骨 粗 鬆 症		560	34 （ 6.1 ）	追 跡 調 査 未 実 施	

※ リスク検診の要精密検査は、判定がB・C・D群の該当者

表4-3-2 年度別実績

単位:人

年度 検診項目		H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
肺がん検診	X 線	25,699	25,871	25,336	24,994	24,020	29,950	30,312	30,060	38,949	39,436	38,031
	喀痰細胞診	3,570	3,130	2,905	2,874	2,890	3,186	2,227	2,078	2,098	1,795	2,011
	胸部C T	732	666	739	569	453	529	361	171	145	150	147
胃がん検診	X 線	12,853	11,146	10,568	12,299	11,214	10,397	9,456	9,211	9,121	8,426	8,306
	ペプシノゲン	1,292	684	928	261	651	175	588	166	1	-	1
	リスク検診	-	-	1,335	1,769	2,470	2,036	2,158	3,166	2,148	1,560	1,559
大腸がん検診		15,384	13,993	15,298	17,338	17,598	18,596	18,345	20,068	19,997	20,264	21,728
乳がん検診	視触診	161	162	177	112	113	126	-	-	-	-	-
	X 線	780	746	671	927	862	881	891	1,013	759	903	1,123
	超音波	1,332	1,468	1,373	1,510	1,481	1,307	1,459	1,493	1,459	1,432	1,639
子宮頸がん検診		1,390	1,391	1,489	1,606	1,413	1,521	1,431	1,486	1,589	1,715	1,645
腹部超音波検診		3,145	2,641	1,314	1,763	1,750	1,795	1,734	1,899	1,899	1,585	1,561
前立腺がん検診		3,704	3,600	3,423	3,452	3,695	3,595	3,507	3,354	3,135	2,992	2,686
骨粗鬆症検診		1,015	806	895	614	540	483	647	622	495	683	560

4-4 総合健康診断（人間ドック）

人間ドックは、534名を実施した。判定結果は、異常なし2人（0.4%）、軽度異常63人（11.8%）、6か月後再検査99人（18.5%）、3か月後再検査5人（0.9%）、要精密検査254人（47.6%）、要医療67人（12.5%）、治療継続44人（8.2%）であった。

表4-4-1 健診実績

単位：人(%)

	受診者	総合判定内訳						
		A 異常なし	B 軽度異常	C1 6か月後再検	C2 3か月後再検	D1 要精密	D2 要医療	E 治療継続
合 計	534	2 (0.4)	63 (11.8)	99 (18.5)	5 (0.9)	254 (47.6)	67 (12.5)	44 (8.2)
官 公 署 等	489	2 (0.4)	60 (12.3)	96 (19.6)	4 (0.8)	225 (46.0)	63 (12.9)	39 (8.0)
一 般 事 業 所	29	－ (0.0)	2 (6.9)	3 (10.3)	1 (3.4)	16 (55.2)	4 (13.8)	3 (10.3)
個 人	16	－ (0.0)	1 (6.3)	－ (0.0)	－ (0.0)	13 (81.3)	－ (0.0)	2 (12.5)

表4-4-2 年度別健診実績

単位：人

年 度	受診者
平成 23	691
24	699
25	605
26	602
27	614
28	630
29	544
30	557
令和 元	529
2	534

表4-4-3 各種がん検診実績数

各がん検診の受診者数は、肺がん（X線）531人、胃がん（X線）474人、大腸がん512人、乳がん（乳房X線）203人、乳がん（乳房超音波）44人、子宮頸がん222人、腹部超音波534人、前立腺がん148人であった。

単位：人(%)

検 診 項 目		受診者	要精密検査（％）		精密検査受診者（％）		発見がん（％）	
肺がん（X線）		531	9	(1.7)	6	(66.7)	－	(0.00)
胃がん（X線）		474	8	(1.7)	5	(62.5)	－	(0.00)
大 腸 が ん		512	37	(7.2)	23	(62.2)	－	(0.00)
乳がん	乳 房 X 線	203	3	(1.5)	2	(66.7)	－	(0.00)
	乳房超音波	44	－	(0.0)	－	－	－	(0.00)
子 宮 頸 が ん		222	3	(1.4)	2	(66.7)	－	(0.00)
腹 部 超 音 波		534	31	(5.8)	20	(64.5)	－	(0.00)
前 立 腺 が ん		148	3	(2.0)	3	(100.0)	－	(0.00)

4－5 特定保健指導

令和2年度は196人を実施した。支援別割合は、積極的支援は97人で49.5%、動機付け支援は99人で50.5%であった。

表4-5-1 特定保健指導の実績

支援別割合

単位:人(%)

	実施者数		終了者数		初回面接未完了者数*1	途中終了者数*2
計	196	(100.0)	171	(87.2)	18 (9.2)	7 (3.6)
積極的支援	97	(49.5)	82	(41.8)	9 (4.6)	6 (3.1)
動機付け支援	99	(50.5)	89	(45.4)	9 (4.6)	1 (0.5)

*1 初回面接未完了者とは、健診受診当日に初回面接を行い、後日電話で行動計画策定を完成させる部分を辞退した者

*2 途中終了者とは、脱落者（最終利用日から未利用のまま2か月経過し、支援終了した者）及び資格喪失者（退職等により保険が変更になり、支援終了した者）

表4-5-2 年度別指導実績

単位:人

年 度	積極的支援	動機付け支援
平成 23	148	90
24	167	127
25	184	128
26	186	144
27	192	180
28	114	115
29	126	123
30	189	187
元	138	133
2	97	99

表4-5-3 初回面接時と3か月以降の体重の変化

単位:人(%)

		男	女	計	
合 計		111	59	170	(100.0)
体重減少の計		83	48	131	(77.1)
積極的支援	計	56	26	82	(100.0)
	増加	9	5	14	(17.1)
	減少	45	20	65	(79.3)
	変化なし	2	1	3	(3.7)
動機付け支援 *3	計	55	33	88	(100.0)
	増加	15	4	19	(21.6)
	減少	38	28	66	(75.0)
	変化なし	2	1	3	(3.4)

表4-5-4 初回面接時と3か月以降の腹囲の変化

単位:人(%)

		男	女	計	
合 計		111	59	170	(100.0)
腹囲減少の計		67	42	109	(64.1)
積極的支援	計	56	26	82	(100.0)
	増加	13	4	17	(20.7)
	減少	33	17	50	(61.0)
	変化なし	10	5	15	(18.3)
動機付け支援 *3	計	55	33	88	(100.0)
	増加	18	3	21	(23.9)
	減少	34	25	59	(67.0)
	変化なし	3	5	8	(9.1)

*3 対象者から評価結果データが得られず、督促回数をもって終了と位置づけした1名は含まない

4－6 腸内病原細菌検査

腸内病原細菌検査の実施件数は、38,657件であった。陽性者はサルモネラ属菌で2件、腸管出血性大腸菌で1件であった。陽性者の詳細は、サルモネラ属はO8とO9で各1件ずつ、腸管出血性大腸菌ではO121が1件検出された。

令和2年度からPCR法へと検査方法を変更したことに伴い、検出可能な菌種が増加したことで、従来であれば検出できなかったO121を検出することができた。

表4-6-1 年度別実績(赤痢・サルモネラ菌)

単位:人

年	度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
合	計	123,945	118,687	121,726	118,756	115,915	103,995	103,462	104,727	104,202	102,048	38,657
学	校	4,496	4,657	5,362	6,493	5,292	4,456	3,540	3,407	3,349	3,348	2,412
給	食	8,904	8,743	12,389	11,029	9,599	5,330	5,250	5,193	4,560	4,047	4,138
事	業	78,263	76,089	76,927	77,612	77,093	74,821	75,959	76,915	77,408	76,370	15,980
水	道	1,544	1,579	1,582	1,611	1,698	1,795	1,808	1,882	1,930	1,926	1,639
施	設	20,382	18,895	17,898	16,367	17,342	12,920	12,968	13,331	13,192	12,653	11,296
そ	の	10,356	8,724	7,568	5,644	4,891	4,673	3,937	3,999	3,763	3,704	3,192
陽	性	22	15	31	23	33	34	28	39	36	44	2
サ ル モ ネ ラ 属 菌 分 類 O 抗 原	O4	9	2	11	6	15	20	14	14	12	14	-
	O7	3	8	6	7	12	6	9	14	4	16	-
	O8	2	-	1	5	-	4	2	7	9	9	1
	O9	7	3	8	2	3	2	1	4	3	-	1
	O3,10	1	-	1	-	2	1	1	-	6	1	-
	O1,3,19	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-
	O21	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-
	O6,14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	O11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	O13	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	O16	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	O18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
	O群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

※令和2年度から検査方法を分離培養法からPCR法に変更。

表4-6-2 年度別実績(腸管出血性大腸菌)

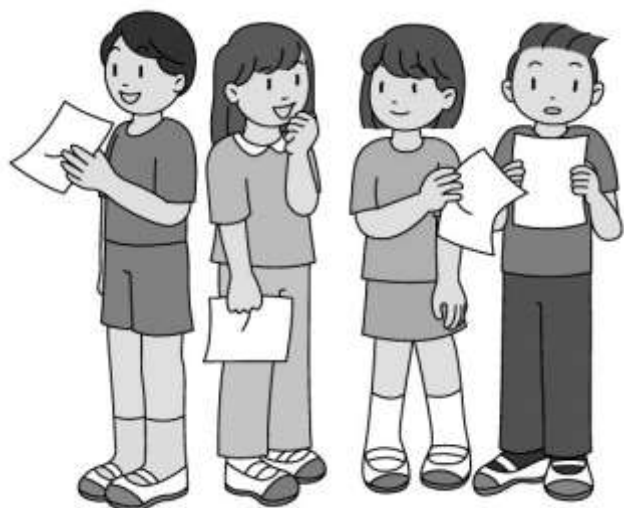
単位:人

年	度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
合	計	117,148	116,511	119,846	117,124	114,388	102,959	102,794	104,344	103,797	102,021	38,657
学	校	4,396	4,656	5,359	6,493	5,292	4,456	3,540	3,407	3,349	3,348	2,412
給	食	8,860	8,743	12,389	11,028	9,599	5,330	5,250	5,193	4,560	4,047	4,138
事	業	74,800	74,907	75,886	76,689	76,307	74,085	75,489	76,708	77,195	76,366	15,980
水	道	1,283	1,341	1,345	1,382	1,459	1,546	1,642	1,716	1,743	1,903	1,639
施	設	18,044	18,292	17,360	15,924	16,879	12,917	12,968	13,331	13,192	12,653	11,296
そ	の	9,765	8,572	7,507	5,608	4,852	4,625	3,905	3,989	3,758	3,704	3,192
陽	性	6	2	1	1	-	-	-	-	-	-	1
腸管 出血性 大腸菌	VT1;(-)	VT2;(+) 2 (O157)	2 (O157)	-	1 (O157)	-	-	-	-	-	-	1 (O121)
	VT1;(+) VT2;(+) 2 (O157)	-	1 (O157)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	VT1;(+) VT2;(-) 2 (O157)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※検出可能な菌種: O157・O26・O111(令和元年度まで)、O157・O26・O111等を含む約30種類(令和2年度から)

※腸管出血性大腸菌の陽性者内訳に記す(カッコ内)の表記は、検出された菌種を示す。

5 学校保健



5－1 尿検査

令和2年度は、26市町の教育委員会と国立・私立学校の幼児・生徒・学生・教職員等合わせて163,890人実施した。前年度と比較して受検者は、7,029人減少した。

一次検査の陽性者数は2,301人（1.40％）、二次検査の陽性者数は540人（0.33％）であった。

表5-1-1 年度別検査実績

単位:人(%)

年度	一 次 検 査									
	受検者	陽性者	陽 性 件 数				内 訳			
			蛋白		潜血		糖		蛋白潜血同時	
平成 22	196,939	2,941 (1.49)	847 (0.43)		1,909 (0.97)		279 (0.14)		82 (0.04)	
23	189,038	2,981 (1.58)	805 (0.43)		1,942 (1.03)		316 (0.17)		71 (0.04)	
24	186,084	3,289 (1.77)	1,093 (0.59)		2,038 (1.10)		281 (0.15)		107 (0.06)	
25	184,282	2,968 (1.61)	797 (0.43)		2,031 (1.10)		251 (0.14)		100 (0.05)	
26	181,355	3,162 (1.74)	863 (0.48)		2,067 (1.14)		325 (0.18)		76 (0.04)	
27	180,192	2,958 (1.64)	865 (0.48)		1,855 (1.03)		336 (0.19)		86 (0.05)	
28	178,213	2,966 (1.66)	850 (0.48)		1,909 (1.07)		300 (0.17)		77 (0.04)	
29	176,473	2,742 (1.55)	799 (0.45)		1,715 (0.97)		315 (0.18)		78 (0.04)	
30	173,983	2,618 (1.50)	810 (0.47)		1,712 (0.98)		174 (0.10)		73 (0.04)	
令和 元	170,919	2,636 (1.54)	715 (0.42)		1,830 (1.07)		170 (0.10)		77 (0.05)	
2	163,890	2,301 (1.40)	634 (0.39)		1,537 (0.94)		183 (0.11)		43 (0.03)	

※ 一次検査の（ ）数字は、一次検査受検者数に対する陽性率を表示

単位:人(%)

年度	二 次 検 査									
	受検者	陽性者	陽 性 件 数				内 訳			
			蛋白		潜血		糖		蛋白潜血同時	
平成 22	2,836	775 (0.39)	188 (0.10)		514 (0.26)		104 (0.05)		28 (0.01)	
23	2,712	734 (0.39)	184 (0.10)		495 (0.26)		106 (0.06)		45 (0.02)	
24	3,051	799 (0.43)	238 (0.13)		514 (0.28)		90 (0.05)		35 (0.02)	
25	2,718	792 (0.43)	191 (0.10)		549 (0.30)		99 (0.05)		37 (0.02)	
26	2,889	725 (0.40)	132 (0.07)		523 (0.29)		98 (0.05)		21 (0.01)	
27	2,719	727 (0.40)	173 (0.10)		496 (0.28)		104 (0.06)		41 (0.02)	
28	2,701	652 (0.37)	124 (0.07)		470 (0.26)		92 (0.05)		32 (0.02)	
29	2,526	707 (0.40)	161 (0.09)		487 (0.28)		100 (0.06)		38 (0.02)	
30	2,307	605 (0.35)	149 (0.09)		435 (0.25)		46 (0.03)		23 (0.01)	
令和 元	2,337	549 (0.32)	125 (0.07)		396 (0.23)		51 (0.03)		21 (0.01)	
2	2,068	540 (0.33)	115 (0.07)		389 (0.24)		56 (0.03)		15 (0.01)	

※ 二次検査の（ ）数字は、一次検査受検者数に対する陽性率を表示

5－2 心臓病検診

当協会では、一次検診を行い精密検査が必要と判定された児童・生徒に対し、二次検診を実施する方法（心臓病スクリーニング検診）と、一次検診のみを実施し、精密検査が必要と判定された児童・生徒は医療機関を受診する方法（心電・心音図検査又は心電図検査）で実施している。

令和2年度は、心臓病スクリーニング検診と心電・心音図検査又は心電図検査を28,832人実施した。要二次スクリーニング検診対象者数は1,087人、精密検査対象者数は388人、その他の指導は71人であった。

表5-2-1 年度別一次検診実績

単位:人(%)

年度	受診者	要二次スクリーニング検診 対象者数	要精密検査対象者数	その他の指導
平成 22	29,566	1,226 (4.1)	352 (1.2)	37 (0.1)
23	29,202	1,371 (4.7)	357 (1.2)	49 (0.2)
24	28,560	1,309 (4.6)	352 (1.2)	30 (0.1)
25	29,728	1,536 (5.2)	333 (1.1)	38 (0.1)
26	29,385	1,313 (4.5)	381 (1.3)	37 (0.1)
27	28,711	1,402 (4.9)	381 (1.3)	38 (0.1)
28	29,989	1,370 (4.6)	389 (1.3)	24 (0.1)
29	29,113	1,421 (4.9)	414 (1.4)	38 (0.1)
30	28,564	1,198 (4.2)	438 (1.5)	46 (0.2)
令和 元	28,899	1,126 (3.9)	441 (1.5)	35 (0.1)
2	28,832	1,087 (3.8)	388 (1.3)	71 (0.2)

5－3 貧血検査

令和2年度は、中学校では2市町と私立高校1校が実施し2,522人が受診した。検査結果は、貧血傾向者84人（3.3%）、白血球数異常値者数133人（5.3%）であった。また、異常項目重複者を含む総異常値者数は、485人（19.2%）であった。

また、ヘリコバクター・ピロリ菌検査は、132人が受診し、陽性者は4人（3.0%）であった。

表5-3-1 年度別検査実績

単位:人(%)

年度	性別	受検者	総異常値者	貧血傾向者	白血球数 異常値者
平成 22	男	1,397	143 (10.2)	16 (1.1)	74 (5.3)
	女	1,478	220 (14.9)	101 (6.8)	119 (8.1)
	計	2,875	363 (12.6)	117 (4.1)	193 (6.7)
23	男	1,395	151 (10.8)	15 (1.1)	93 (6.7)
	女	1,629	245 (15.0)	118 (7.2)	120 (7.4)
	計	3,024	396 (13.1)	133 (4.4)	213 (7.0)
24	男	1,382	212 (15.3)	20 (1.4)	111 (8.0)
	女	1,563	225 (14.4)	94 (6.0)	116 (7.4)
	計	2,945	437 (14.8)	114 (3.9)	227 (7.7)
25	男	1,298	151 (11.6)	14 (1.1)	60 (4.6)
	女	1,642	228 (13.9)	97 (5.9)	115 (7.0)
	計	2,940	379 (12.9)	111 (3.8)	175 (6.0)
26	男	1,345	196 (14.6)	18 (1.3)	80 (5.9)
	女	1,530	242 (15.8)	99 (6.5)	126 (8.2)
	計	2,875	438 (15.2)	117 (4.1)	206 (7.2)
27	男	1,256	210 (16.7)	15 (1.2)	86 (6.8)
	女	1,523	226 (14.8)	92 (6.0)	116 (7.6)
	計	2,779	436 (15.7)	107 (3.9)	202 (7.3)
28	男	1,267	164 (12.9)	11 (0.9)	63 (5.0)
	女	1,561	231 (14.8)	102 (6.5)	100 (6.4)
	計	2,828	395 (14.0)	113 (4.0)	163 (5.8)
29	男	1,244	202 (16.2)	11 (0.9)	79 (6.4)
	女	1,401	181 (12.9)	70 (5.0)	85 (6.1)
	計	2,645	383 (14.5)	81 (3.1)	164 (6.2)
30	男	1,242	142 (11.4)	10 (0.8)	38 (3.1)
	女	1,459	186 (12.7)	87 (6.0)	76 (5.2)
	計	2,701	328 (12.1)	97 (3.6)	114 (4.2)
令和 元	男	1,154	189 (16.4)	14 (1.2)	43 (3.7)
	女	1,341	222 (16.6)	96 (7.2)	84 (6.3)
	計	2,495	411 (16.5)	110 (4.4)	127 (5.1)
2	男	1,131	260 (23.0)	7 (0.6)	47 (4.2)
	女	1,391	225 (16.2)	77 (5.5)	86 (6.2)
	計	2,522	485 (19.2)	84 (3.3)	133 (5.3)

※ 総異常値者数は、Hb・Ht・RBC・WBCのいずれかの項目が低値又は高値であった人の合計。貧血傾向者数は、Hb・Ht・RBCのいずれかの項目で低値を示した人の合計。（Hb：血色素量、Ht：血球容積、RBC：赤血球数、WBC：白血球数）

表5-3-2 ヘリコバクター・ピロリ菌検査実績

（中学校）

単位:人(%)

		受検者	陽性者
城里町	男	71	3 (4.2)
	女	61	1 (1.6)
	計	132	4 (3.0)

５－４ 小児生活習慣病予防健診

令和2年度は、14市町村で8,845人実施し、結果説明会対象者は2,273人(25.7%)で、総合判定Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのいずれかとなった。

結果説明会対象者の割合は、ここ数年増加傾向にあり、令和2年度は25%を超えた。

表5-4-1 年度別健診実績

単位：人(%)

年度	受診者	結果説明会対象者	総合判定内訳				
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	N
平成 22	14,510	2,799 (19.3)	566	932	1,301	7,315	4,396
23	14,305	2,697 (18.9)	538	865	1,294	7,299	4,309
24	13,936	2,666 (19.1)	539	908	1,219	7,151	4,119
25	12,949	2,463 (19.0)	482	878	1,103	6,790	3,696
26	12,764	2,391 (18.7)	429	825	1,137	6,632	3,741
27	11,941	2,301 (19.3)	412	791	1,098	6,227	3,413
28	11,689	2,276 (19.5)	410	762	1,104	5,871	3,542
29	11,228	2,320 (20.7)	406	796	1,118	5,699	3,209
30	9,531	2,049 (21.5)	404	672	973	4,817	2,665
令和 元	9,659	2,129 (22.0)	438	783	908	4,855	2,675
2	8,845	2,273 (25.7)	490	884	899	4,460	2,112

※総合判定内容

Ⅰ：医学的管理が必要 Ⅱ：定期的経過観察が必要 Ⅲ：食事運動を中心とした生活指導が必要 Ⅳ：管理不要 N：正常

6 母子保健



6-1 先天性代謝異常等検査

令和2年度の検査実績における初回検査者は17,904人で、前年度より1,119人減少した。要精密検査者は24人(0.13%)で、精密検査結果は、要治療12人、要観察5人、異常なし7人であった。

対象疾患確定患児の内訳は、アミノ酸代謝異常症2人、糖代謝異常症2人、先天性甲状腺機能低下症9人であった。

表6-1-1 年度別検査実績

単位:件

年度	初回受付 件数	要精密 検査者	確定 患児	疾 患 内 訳						
				アミノ酸代 謝異常症	有機酸代 謝異常症	脂肪酸代 謝異常症	糖 代 謝 異 常 症	先天性副腎 過形成症	先天性甲状腺 機能低下症	その他
平成 22	24,995	18	2	-	-	-	-	-	2	-
23	23,685	16	10	-	-	-	-	1	9	-
24	23,703	10	4	-	-	-	-	-	4	-
25	23,345	33	15	-	-	-	-	-	15	-
26	23,239	32	23	3	1	1	2	3	12	1
27	22,878	24	12	-	1	-	-	-	11	-
28	21,937	25	4	1	-	-	-	1	2	-
29	21,202	19	11	-	-	-	1	-	9	1
30	20,041	15	9	-	-	-	1	2	5	1
令和 元	19,023	12	4	-	1	1	-	2	-	-
2	17,904	24	13	2	-	-	2	-	9	-

※ 平成25年度からタンデムマス法導入により、アミノ酸代謝異常症2疾患、有機酸代謝異常症7疾患、脂肪酸代謝異常症4疾患が加わり、平成30年度には脂肪酸代謝異常症1疾患が加わった。

※ 疾患内訳については、令和4年3月末日現在で集計。

表6-1-2 精密検査結果

単位:件

マス・スクリーニング 結 果	要精密検査	精 密 検 査 結 果 内 訳			
		要治療	要観察	異常なし	追跡中
合 計	24	12	5	7	-
アミノ酸代謝異常症の疑い	2	1	1	-	-
有機酸代謝異常症の疑い	-	-	-	-	-
脂肪酸代謝異常症の疑い	1	-	-	1	-
糖代謝異常症の疑い	4	1	2	1	-
内分泌疾患の疑い	17	10	2	5	-

※ 精密検査結果内訳については、令和4年3月末日現在で集計。

7 普及啓発事業



7-1 普及啓発活動

予防医学運動の一環として各関係機関の協力のもと、結核、がん、循環器の疾病予防に対する正しい知識の普及啓発や広報活動を次のとおり実施した。

1 健康づくり推進事業功労者の表彰

本県の健康づくり事業の推進に功労のあった個人、団体を表彰する「県民健康づくり表彰式」を県と共催し、特に当協会の事業推進に貢献のあった個人及び団体を表彰（協会長賞）した。

（表彰者） 個人 6 名、2 団体

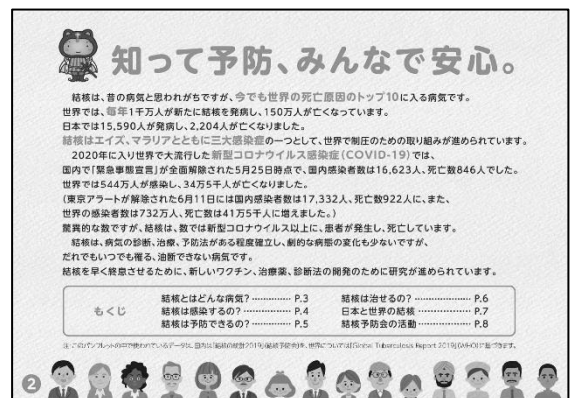
2 結核予防の推進

(1) 結核予防週間（毎年 9 月 24 日～30 日）の取り組み

結核に関する正しい知識の普及と予防意識の啓発を図るため、結核予防週間ポスター及びパンフレットを県内全域に配付するとともに、つくば駅南北自由通路にポスターを掲示し、ホームページ上で結核予防週間を周知した。



ポスター「結核予防週間」



パンフレット「結核の常識 2020」

(2) 複十字シール運動

結核予防会本部が行う、結核や肺がんなどの胸部疾患撲滅に向けた募金活動に支部として参加した。多くの個人や団体から募金を受け、結核・肺がん等の調査研究、開発途上国への結核対策支援、胸部検診車等の整備に役立てることができた。



複十字シール

3 がん征圧月間（毎年9月）の取り組み

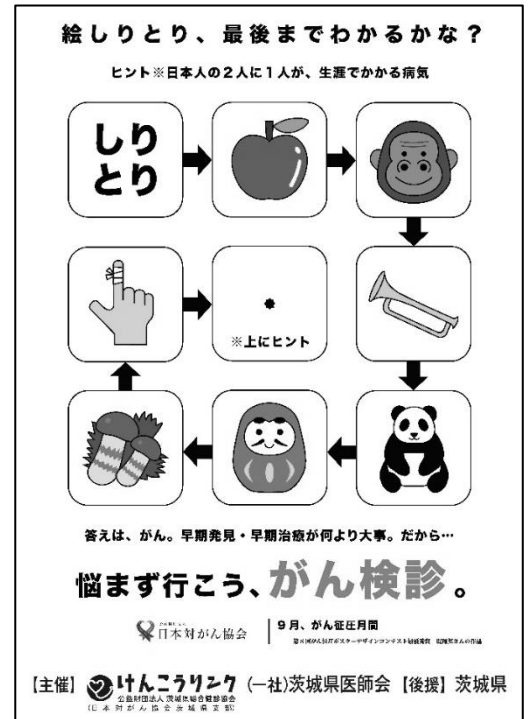
県医師会と共催して、県内全域及びつくば駅南北自由通路にがん征圧月間ポスターを掲示するとともに、事務所がある水戸本部及び各センター並びに水戸駅南口、土浦駅西口のペデストリアンデッキに横断幕を掲げた。併せて、新聞広告やホームページ、茨城県公式ツイッター等を活用し、がん征圧月間を広く周知したほか、地域情報誌を通じて乳・子宮頸がん検診無料クーポン券を配布した。



水戸駅南口ペデストリアンデッキへの横断幕掲示



土浦駅西口ペデストリアンデッキへの横断幕掲示



がん征圧月間ポスター

4 広報・健康教育活動

- (1) 上部団体機関誌「複十字」、「対がん協会報」、「予防医学ジャーナル」、「健康の輪」を県、保健所、市町村等へ配布した。
- (2) がん予防や生活習慣病予防に関する、パネル、症例モデル等視聴覚教材の無料貸出を行った。
- (3) 世界禁煙デー（毎年5/31）にあわせ、禁煙ポスターを県内全域（保健所、市町村保健センター等）へ配布し、禁煙啓発活動を行った。
- (4) 児童・生徒を対象とした小児生活習慣病予防健診の要精密検査者及び希望者に対し、保護者を交えて、結果の見方並びに生活習慣病改善に向けた動画を上映するとともに、オンラインによる小児科専門医師の個別相談を行った。



禁煙ポスター

8 各種研究委員会 研修会等



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

8-1 各種研究委員会

8-1-1 令和2年度研究委員会開催事項

皆様に信頼される健診結果をお届けするため、各種検診・検査ごとに研究委員会を設け、判定技術の向上に努めています。研究委員会は、筑波大学等公的医療機関の専門医を代表世話人に、県内外の優れた医師により組織しており、主に前年度の症例検討、専門医師等講演会を開催し、判定基準の策定、診断結果のフィードバック、医療・検査・健診情報の提供、実績報告などを行っています。

研究委員会	開催内容	開催日 代表世話人 参加人数
先天性代謝異常等検査研究委員会 (オンライン)	・ 令和元年度先天性代謝異常等検査実績報告 ・ 令和元年度外部精度管理結果について ・ 検査済みろ紙二次使用状況について	令和3年1月16日 鴨田 知博 参加者16名
肺がん検診研究委員会 (オンライン)	・ 令和元年度肺がん検診実績について ・ 特別講演「茨城県の喀痰細胞診検査」 講師:東京医科大学 茨城医療センター 古川 欣也	令和3年2月24日 鬼塚 正孝 鏑木 孝之 金敷 真紀 参加者42名

8-2 令和2年度 各種研修会・講習会・学会参加状況

協会職員の技術の取得や、資質の向上を図るため、各種研修会、講習会、学会への参加を積極的に行っている。

■ 各種学会、研修会等	開催日・開催地	主催団体・参加人数
人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会	R2. 9. 7 オンライン開催	日本人間ドック学会 参加者1名
放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究 リサーチ・コーディネーター（RC）会議	R2. 9. 9 オンライン開催	全国労働衛生団体連合会 参加者1名
第45回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	R2. 9. 19～20 オンライン開催	日本乳腺甲状腺超音波医学会 参加者2名
第30回日本乳癌検診学会学術総会	R2. 11. 22～23 オンライン開催	日本乳癌検診学会 参加者3名
日本超音波医学会 第93回学術集会	R2. 12. 1～3 オンライン開催	日本超音波検査学会 参加者1名
結核予防会事務職員セミナー	R2. 12. 11 オンライン開催	結核予防会 参加者2名
日本マスキング学会検査技術者研修会・ 基礎から専門まで	R3. 1. 6～2. 10 (全6回) オンライン開催	日本マスキング学会 参加者1名
第29回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	R3. 2. 20～21 オンライン開催	日本婦人科がん検診学会 参加者2名
日本マスキング学会 技術部会第39回研修会	R3. 3. 6 オンライン開催	日本マスキング学会 参加者1名
特定保健指導担当者向け講座	R3. 3. 9 オンライン開催	おもてなし [®] びより 参加者1名
心電図ファーストステップセミナー	R3. 3. 10～23 (全5日間) オンライン開催	アスリード株式会社 参加者5名
心電図ステップアップセミナー	R3. 3. 12～18 (全3日間) オンライン開催	アスリード株式会社 参加者2名
■ 上部団体等主催の大会・会議等	開催日・開催地	主催団体・参加人数
予防医学事業中央会 第2回常任企画委員会	R2. 6. 22 オンライン開催	予防医学事業中央会 参加者1名
予防医学事業中央会 第3回常任企画委員会	R2. 8. 21 オンライン開催	予防医学事業中央会 参加者1名
複十字シール運動担当者会議	R2. 9. 2 オンライン開催	結核予防会 参加者2名
がん征圧全国大会	R2. 9. 18 オンライン開催	日本対がん協会 参加者10名
結核予防全国大会	R3. 3. 2 オンライン開催	結核予防会 参加者2名

ご 案 内

事業年報の詳細は
当協会のホームページから御覧いただけます。

けんこうリンク



事 業 年 報

令和 2 年度

発 行 日	令和 5 年 1 月
発 行 所	公益財団法人 茨城県総合健診協会 〒310-8501 水戸市笠原町 489-5
T E L	(029) 241-0011 (代)
編集発行人	事務局長 金澤 秀房
印 刷	有限会社 吉田印刷



けんこうりそく

(公財) 茨城県総合健診協会

水戸市笠原町489-5

TEL 029(241)0011

URL <http://www.ibasouken.org/>